

【滞在概要】ワークショップ実績報告

滞在期間	2022年7月10日～7月20日	主な滞在场所	はりいしゃ
参加者	男性（30代）	業種	版画家
滞在テーマ	「アート」×「越前海岸の自然」		
滞在概要	<p>「越前海岸はりいしゃ招聘アーティスト作品展 海を見る植物」の参加作家として、古民家はりいしゃにてきたギャラリーにて、地域資源を生かした作品発表とともに、ワークショップの開催や滞在制作の場としての利用、地域のまちづくりコミュニティの協力を得ながら、地元資源の魅力発見などに努めた。滞在中は越前海岸で取れる海産物や、自ら釣った魚やイカ釣り漁船で釣ったイカなどを作品にしていくことで、越前海岸でしか生まれ得ない作品制作をした。関東圏での作品発表の機会にも、越前海岸の魅力を表現できるような作品作りにつなげる。「植物パステルを作る」というワークショップでは、滞在先の周辺で参加者とともに木の葉を採集し、それを乾燥させて粉末にし、固着剤で固めオリジナルのパステルを完成させるという内容の体験を行なった。子ども大人ともに参加者の学びの機会となったとともに、越前海岸の、海の恵みだけでなく、自然の豊かさを参加者とともに再発見できた。</p>		

【滞在時写真】ワークショップ実績報告

2022 in summer
海を见る 植物
Plants that see the sea

7/14 (Thu.)
7/18 (Sun.)

Artist in Echizen Coast

開催期間中のタイムスケジュール

作品展チラシ



展示、およびワークショップ会場
「ギャラリーはりいしゃ」



展示風景



越前海岸をモチーフにした木版画作品

【滞在時写真】ワークショップ実績報告



滞在制作の様子



植物パステル作りワークショップのための木の葉採集
乾燥させた木の葉を粉碎機で粉にした様子



越前海岸で採れた魚の制作風景



植物パステル

ワーケーション滞在アンケート

福井でワーケーション を行う魅力

美術作家という立場からの視点になりますが、新しく作品を作る時にフィールドワークや現場でのリサーチを最初に行います。その時に外部からの視点だけでなく、土地に関わっている人や、普段、接することができない場所にアクセスすることがとても重要になります。

今回の越前海岸の滞在では日本海の生物や環境、人々の暮らしや風土などが主なテーマでした。これらのことに触れるには、それなりの時間が必要になります。旅行や観光的な短い期間では限界があり、場合によっては長期滞在をする場合が多くなります。

しかし、今回のような現地のサポートやワークショップ、展覧会を兼ねた滞在では、近くに住んでいる人たちとの交流もスムーズになり、多くの情報や創発的な出来事が多くあり(船に乗せてもらったり、海の岩場の案内をしてもらうなど)、10日間ほどの短い滞在のはずが、通常では1ヶ月ほどかかるような濃密な体験をすることができました。

心遣いや細やかな対応など、福井みなさんが温かく迎えてくれたことがとても心に残っています。

ワーケーション滞 在にあたり、苦労 したことや改善し て欲しいと感じた こと

ワーケーション滞在にあたり、苦労したことは、車がないと移動や買い出しなどできないことです。

その他、アーティストの滞在を今後も引き続き行うにあたり改善されると良いと思ったところは、宿泊先が日本家屋を改築した建物だったこともあり、部屋に鍵がないので、貴重品ボックスなどがあれば、安心感が増すと思いました。高価な作品を展示、管理するにあたり、近所の子どもが手を触れてしまったり、破損する恐れもあり、困る場面もありました。